

自立活動だより

紀北支援学校自立活動部

平成30年7月発行

今回の自立活動だよりはセクション3の取組を紹介します。

自立活動の学習指導要領には『1 健康の保持』『2 心理的な安定』『3 人間関係の形成』『4 環境の把握』『5 身体の動き』『6 コミュニケーション』の6つに区分され、更にその区分を細かく項目としています。セクション3はその中の『人間関係の形成』と『コミュニケーション』について授業を行っています。今回は項目に対する取組をピックアップして紹介したいと思います。

『人間関係の形成』の項目

(1)	他者とのかかわりの基礎に関する事。
(2)	他者の意図や感情の理解に関する事。
(3)	自己の理解と行動の調整に関する事。
(4)	集団への参加の基礎に関する事。



『コミュニケーション』の項目

(1)	コミュニケーションの基礎的能力に関する事。
(2)	言語の受容と表出に関する事。
(3)	言語の形成と活用に関する事。
(4)	コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。
(5)	状況に応じたコミュニケーションに関する事。

『人間関係の形成』(3) 自己の理解と行動の調整に関する事。

<3 ヒントクイズ>

3つのヒントを聞いてから答えるという約束をして問題を出します。

例えば

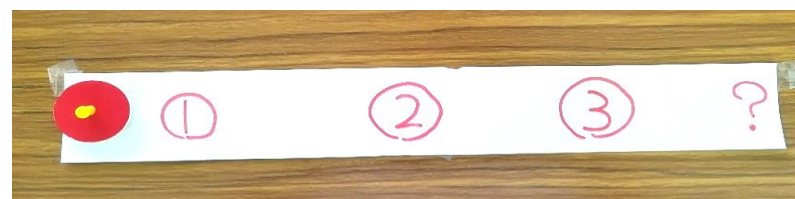
① 動物です。

② ぴょんぴょん跳ねます。

ここまでいうと3つめの問題を待たずに「うさぎ!」と答えてしまう子どもがいます。

実は③のヒントは2つ用意しており『おなかの袋に赤ちゃんを入れます』か『耳が長いです』になります。

待つのが苦手な子どもには、問題を出すごとに問題の①②③とコマを置いていくようにすると、視覚的にわかりやすくなります。ルールに慣れてくると問題を出すテンポを遅くしてみたり、表を使わずに指を使ったりしながらすすめていきます。



『コミュニケーション』(2) 言語の受容と表出に関する事。

<ストロー吹き矢>



ストローを使って吸うことはできても、吹くことが苦手な子どもが楽しみながら「吹くこと」を練習できるように作りました。最初は息がもれてしまう子どももいましたが、的に当たるのが嬉しくて何度も挑戦し、呼気の練習に大活躍しています。

また、ストローの色が5色なので「次は何色の矢にする?」などのやりとりをしながらすすめていきます。

視線入力はじめました ^ ^



今年度からセクション3の授業では視線入力装置を使つての取り組みを始めています。

視線入力装置は瞳孔の動きを読み取り、そのデータをパソコンの画面上に反映させることができます。自立活動部では一昨年から購入を希望していた『PCEye mini (以下mini)』を昨年度購入することができ、その後『Tobii Eye Tracker 4 C (以下4C)』が新たに加わり、本校では計2台の視線入力装置があります。miniは普通のマウス操作が視線によって同じことができます。4Cはもともとゲーム用であり、基本的には左クリックのみの機能になります。そのため2台の値段もかなりの違いがあります。

現在は、miniと一緒に購入した『センサリーアイ FX』のソフトやパワーポイントの自作教材などを使って注視や追視の力を高めたり、因果関係を理解したりすることを中心に取り組みを行っています。

授業に導入をしはじめてからまだ日が浅く課題もたくさんありますが、有効的な使い方ができるように今後も探っていきたいと考えています。



上が PCEye mini、下が Tobii Eye Tracker 4 C

何かお聞きになりたいことがあれば、いつでも担任の先生に声をかけて連絡くださいね。

